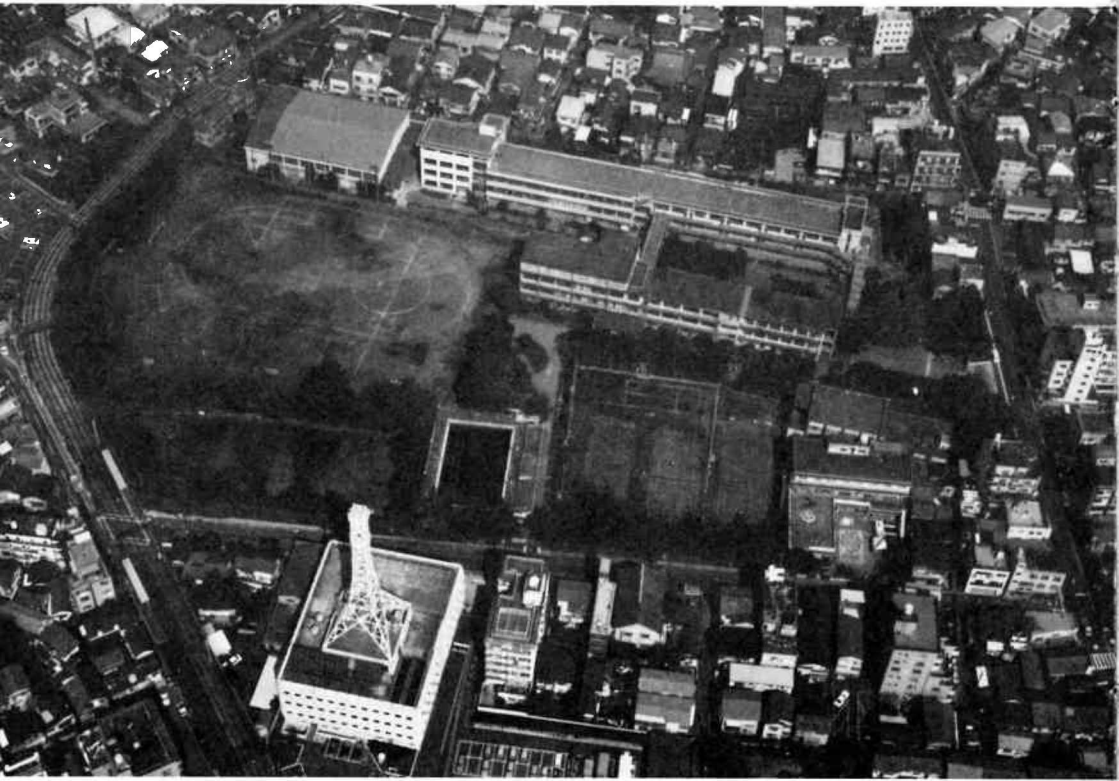


紫 筍

第 25 号



都立文京高等学校同窓会々誌

昭和58年3月1日刊

ブラバン演奏会 4月3日(日曜)

板橋区立文化会館
(東上線大山駅下車)

四十周年
記念誌 (56年3月刊行)
残部かぎり

58年版 名簿
のご購入は

同窓会宛の現金書留で
名簿のみ 2,500円
記念誌のみ 1,500円
名簿、記念誌 3,500円

ダンス講習会・パーティのご案内

P15

名簿訂正を

毎年改訂版を出しています。
住所、電話、勤務先、その電話など
お知らせ下さい。改姓、新しく就職の方も。

クラス会・同期会の開催を

(幹事の方は、名簿訂正を
同窓会までお知らせ下さい。)

目次

校長室から(学校長)古瀬 敦	3
広告に生きて(インタビュ)長縄源太郎	4
奥田行信先生 短歌抄(追悼文集から)	5
奥田校長卒業式々辞(追悼文集から)	6
「トルーマン」 1期生へ	7
市三会、四先生追悼会、かしの木展	8
校舎燃上(昭和20年)鈴木時亮	9
職員異動、クラブ活動	10
母校「文化祭・体育祭」(9月・10月)	11
卒業三十周年記念同期会を開催して——榎本幸三	12
ダンス部から	13
会計報告	14
卒業生進路状況	15
ブラスバンド部・定期演奏会について	16
賛助会員名簿	17
	18
	19
	20

学校空中写真(昭和57年度)……………表紙

都立文京高等学校同窓会会報
紫 笥 25号 昭和58年3月1日刊
編集 川口和哉・前出政徳・宮部由佳里
住所 種市雅樹・遠藤公子・西岡 弘
豊島区西巢鴨1-1-5
印刷 シミズ印刷 電話 九一〇一八二三一
八二二一六三三五

校長室の中から

校長 古瀬 敦



文京高校の校長室には、なかなかりっぱなものが見られます。

まず、油絵が掛っています。昭和二十九年卒業生贈呈と書いてあり、石川寅治画伯の「網代港」と題する絵です。

それから、「読書人日新」——読書人は日に新たなりと読むのでしょう——と書いた、金森徳次郎氏の書が掛けてあります。

これは年月がかかっている感じですが、その隣に真新しい感じの書があり、「鶴延年」と書いてあります。よく見ると、最近北京の十六歳の中学生が、日本の友人に贈るとあり、達人なものです。

さらに、若い男女の彫像が置いてあります。男の方は、「愨」と題し、MEENDOと作者名があり、昭和二十九年松田鉦吉氏寄贈とあります。女の方は、「蒼穹」と題し、赤堀信平氏作、第八回卒業記念とあります。

これらはそれぞれりっぱなもので、今後長く校長室を飾ってくれるでしょう。特に、私は石川画伯の網代港の風景画が好きです。これだけの絵が掛っている校長室は、都立高校には少ないと思います。

りっぱな校長室に座って、校長の責務の重たさを感じています。どれだけできるかわかりませんが、都立高校の運営管理の責任者であることは確かです。伝統のある文京高校であることを認識し、その充実発展のためささかお役に立ちたいと考えます。

それにしても、戦後の都立高校の歴史と変貌を思うこと切なるものがあります。私は、

昭和二十五年都立広尾高校の教師として出発したのですが、当時高校進学率は六十パーセント代だったでしょう。それが、今は九十三パーセントとかいいます。都立高校の学校の数もたくさん増えたと、生徒の数も大いに増えました。

次に、昭和四十二年に発足した学校群制度、昭和四十四年の高校紛争の影響が、今から思うと非常に大きかったといえます。特に高校紛争は、都立高校の教育や学校運営に致命的な打撃を与えました。それは、それまでの都立高校の教育を根本的に否定するような要素がありました。

このときから、都立高校（大半の既設校）の低迷・動揺・苦難が始まりました。しかし、オイルショック以後、不況が始まり長びくにつれて、世の中全体も落ち着きを取りもどし、都立高校も回復しつつあるようになったのは、皮肉です。

現在は過渡期、転換期といえるのではないのでしょうか。文京高校に関していえば、はつきり漸進的により方向へ向っているといえます。そのために少しでもお役に立てばよいと思うきょうこのごろです。

広告に生きて

長縄源太郎

んさ

プロフィール

昭和六年十二月、東京の池袋に生まれる。昭和十九年、当時豊島中学（文京高校前身）に入学、昭和二十五年三月、卒業、同四月、東大の教養学部入学、三年から文学部社会学科へ、二十九年三月卒、同四月、電通入社、営業関係を二十年近く経て人事局へ。現在は人事局次長兼教育部長

まず当時の文京について？

僕が入学したのが昭和十九年、戦争も末期の頃で、たいへんきびしい学校でして、入学してしばらくは、たいへんな学校に入ってしまったと後悔しました。

軍国主義が、はなやかな時代でしたから、まず大塚の駅から学校まで、一列縦隊で全校生徒、足並をそろえ、私語などをかわしているものがいれば、週番の上級生に罰を受けたり、遅刻をすると、玄関の所にゲートルをつけたまま、正座させられるし、夏でも冬でも、朝礼の時に上半身裸になって体操をさせられたりして、毎日学校へ行くのがいやでした。

長縄さん御自身はどういった学生でしたか？

まあ平凡な学生でした。

目立たない方でしたか？

成績はそう悪い方ではなかったと思いますが、品行的には、そう目立たなかつ

た方だと思えます。

Q 在学中はどのような活動をなさってましたか？

A クラブ活動では、演劇部と、文芸部と、バスケット部をやっていて、クラブ活動

Q したいへん楽しかったです。

Q 学生時代の将来の希望はどういったものでしたか？

A 僕は小説家になりたかった。

Q それではどういった理由で、今の電通に入られたわけですか？

A 大学を卒業したのが、昭和二十九年で、当時は、旧制の大卒と、新制の大卒が、だぶって卒業した翌年で、非常に就職難の時代で、景気もよくなかった。

文学青年にだったので、出版社とか、放送会社、新聞社、こういった所に入りたくて、挑戦したんだけど、一次であつさりおとされる所もあつたし、最後までいって、もうこれで入れるなと安心して

てたら、おとされたりして、たいへんき

びしい就職事情でして、その時にある人に電通という会社があると聞き、それを受けて入ってしまいました。電通というのが広告をやっている会社だとはよく知らなくて、なんでそんな商売が成りたつのかよくわからなかつた。よつするに、どこにも就職できなかつたので入れる所に入ってしまった。

Q その当時、会社の規模はどのくらいだったんですか？

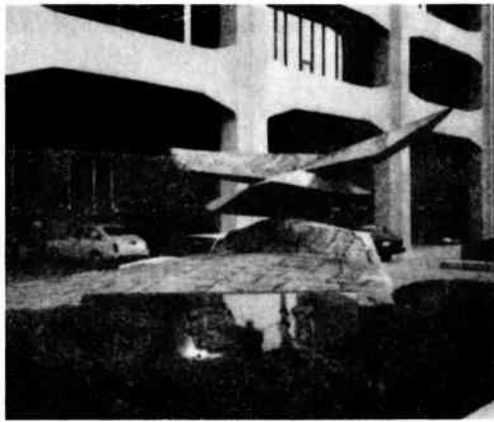
A たぶん、二千人いなかつたと思います。月の扱いが、せいぜい十二億ぐらいじゃなかつたかな。

Q 現在ほどのくらいですか？

A 五千六百人ぐらいで、月の扱いは、平均すると五百億以上です。

Q 電通の仕事を簡単に説明してください。

A よつするに、一番基本的な形というのは、広告主がいます。それから媒体者があり



ます。媒体者とは、新聞社、放送会社、雑誌社とかです。その間に立って、広告の取り次ぎをするというのが、基本的な形です。

広告以外にも、たとえば、典型的な例として、東京オリンピックの時に、一般大衆に対する広報作業や、大阪の万国博では、パビリオンを自注して、そして、その計画、実施、つくること、運営すること、そういうことも手がけてきました。これは、ようするに、一般大衆に対する

コミュニケーションということで、広告の作業のノウハウがいかせます。

この他にも、ワールドサッカー、女子国際マラソンなどの、スポンサーつきのスポーツ大会の企画、運営などを手がけ、その大会を盛り上げていくという作業もあります。

Q その中で、長縄さんの仕事は、どういった役割をしているのですか？

A 教育部ですから、全社員の研修関係のことを総轄しているセクションです。例えば、万国博をやるとすると、それについての研究活動や社内のセミナーをやらなければいけない、その時の企画、運営をやったり、一般的な管理者教育などを、私の役割としてやっています。

Q 最後に現代の若者について一言お願いします。

A 毎年、百何名、女子を合わせますと二百名ぐらいの人間と、四月の一ヶ月間ぐらい集合教育でおつき合いをします。

現代の若者というのは、本当にむずかしく、おとなしくなったりとか、紳士にならなかったとか、よく聞くんですけども、一言に言って、非常につかいわけが、うまいんだろうね。

それと実際、新入社員を採用するという時に、私も面接をするけれども、その時に感じることは、現代の若い人は遊ぶことには、ものすごくたけているなど、それから人付き合いという点についても非常にうまいということです。

しかし、肝心の勉強の方はどうなっているのかと、いつも疑問に感じます。もう少し、自分はこういう事がやりたいんだ”という、オーバーに言えば、人生の目的というものを若いなりに、未熟なりに、もう少しもっていいような気がしません。無目的に学校に入って、四年間を、おもしろおかしく、卒業証書をもらうというために入って、ただなんとなく過こしているという印象を持っています。

(インタビュは川口、前出が会社にお伺いして行いました。なれない事で、十分にお伺いできなかったことを心苦しく思っています。)

奥田行信先生短歌抄

幼くて母と死別のためなるかわが生い立ちが転々として

一年で数学丙が三年でやつと得意のひとつとはなる

年少でいくじがなくてちびっこで何をやつてもものにはならず

浪人の生活もやり早大の電氣を出たのが大正九年

さりながら我が運命の別れ路か親の許さぬ恋に悩めり

鬼怒川の発電所にて落ちしとき己の運命定まりたるか

決意して日本無線に勤めしが迷いたるかな二年で退職

若くしてこの世を去りし教え子は年老いて尚忘れえぬかな

師弟一如の裸体操一日の朝の修業とまず第一に

勤労の苦難を共に越えて来し教え子なれば忘れえぬかな

神風のなくては勝てぬ戦ともつかつぎて祈りし昔

学び舎の焼け残るいちようの木繁り聳えて心うたれる

五十歳余の長き思い出つきぬまま語り明かしてうれしかりけり

古き友懐しきかな駅までも妻子をつれて別れを惜しむ

教え子につれられて来しみかん狩り八十路の吾ははじめてのこと

教え子のすぐれし研究うれしくも我に理解の能力はなし

広々と立派な庭も手入なく老樹哀れに枯れなんとせり

おくつきに父の植えたる白日紅枯れなんと悲しかりけり

若くしてみまかりし友夢路にて度々出会う老の悲しき

般若心経気を引きしめて書き居れど筆先割れて心乱るる

身勝手な願いなれども大病はさけて彼岸に渡りたきかな

古里に昔の影の消ゆるとも動かざるかな山の姿は

妻帰りコップに残したナデシコは日当にあつて枯れなむとせり

（先生は晩年三年間に二千八百余首を作られ驚くほどの精進をされました。）

奥田校長卒業式々辞(追悼文集から)

トルーマンについて

昭和二十四年三月一日

新制1期生 卒業式 式辞

陽春三月を迎え、万物すべて生気を帯びて芽生えようとする時、新卒業生五十五名のために、ここに新制高等学校としての、第一回卒業式を挙行いたしますことは、誠に歓喜にたえないところであります。

思うに諸君は昭和十八年四月第三東京市立中学校第一年として入学以来満六カ年、校名すら第三東京市立中学校から都立豊島中学校、更に都立文京新制高等学校と変わり、時局の変遷と共に学窓から勤労に、勤労から廃墟となった焼跡にと、忘れ難い幾多の悲惨な体験をふみ越えて来たのでありますが、終戦後は汝々として復興に勉学に、建設的な努力を積み、幸いにも文京区当局の、絶大な御後援に依り、この立派な校舎で大きな支障もなく新教育の発足を見、ここに蛍雪の功空しからず、光栄あるきょうの日を迎えることが出来たのであります。

しかもこの間、諸君は万難を排して至誠一

貫よく校訓を守り、常に堅実な校風の刷新を図り、率先して生徒の自分を尽くして来たことは、誠に感激にたえない所でありませう。しかし一面に於いて諸君の御両親が、きょうまで諸君のために尽くして来られた、計り知れない御慈愛と苦難多い御努力とを思うにつけ、更に川島初代校長、本日御臨席を得ました井原文京区長、並びに野口前校長をはじめ諸先生方の、多大な御厚情を思ふ時、諸君はよろしくきょうの光栄に対する責任の大きいことを、自覚すべきであると思ふのです。

扱新教育制度の実施により、諸君は二カ年間最髙学年として、混沌とした社会状況の中にあつて、苦難と戦いつつ、常に理想の光を求めて、学校生活の向上を図つて来た実績等を思えば、将来諸君は、かならず国家社会の有為な人材として、活躍する資質を、十分涵養して来たものと信じてうたがわないのであります。

勿論諸君の中から第二の湯川博士の出現を願わないわけではないのでありますが、それにも増して、私は諸君が、世界のすべての理想を裏切つて当選した、あの平凡な努力家トルーマン大統領のような、有為な人材となられることを、切望して止まないであります。

私はここに一月の改造を通して見た、トルーマン氏の人となりを紹介して、諸君のこの輝かしい門出への「はなむけ」としたいと思ふのであります。

彼トルーマン氏は、ミズリー州ジャクソン郡の一百姓の生まれで、小学校とハイスクールは卒業しておりますが、別に大学教育は受けておりません。若い時から天才でもなければ秀才でもなく、従つて学校時代の成績は抜群でもなく、又優等でもない、極めて平凡な一青年として生い立つて来たようであります。然しミズリー地方の百姓の長所である、純朴と誠実の美德は、彼の血液の中に、立派につちかわれて来ていたように思われます。それ故にハイスクール卒業後わずか五カ年にして、当時としては破格の高給である、月収百ドルの青年銀行員になつていたのであります。

然し、彼の長所である純朴と誠実な気風は、到底軽薄な都會生活を、うけ入れることが出来なかつたのであります。まもなく、破格の高給をうち捨てて、百姓生活に帰り、約一年間汝々として自らトウモロコシの苗を耕して来た人であります。第一次欧州大戦から帰還して、三十五歳の時、子供の時から仲よしであり、且つ学校でも同級であつた夫人と結婚しておるのであります。又戦友の一人と

共同出資で、小さな雑貨店を開きましたが、戦後の不況のために失敗に終わりましたので、郡の道路見回り役を一年間務め、郡の判事の選挙に当選しております。

それから二カ年間は夜学に通つて、法律を勉強しておりますが、とにかく五十歳までの判事を務め、それからミズリー州から、上院議員の選挙に打つて出て当選し、爾來十年間、正直者トルーマンとして、実直を買われて来た人であります。そしてルーズベルト大統領の急死によつて、副大統領から大統領になつた人でありますから、彼の経歴の中には六十五歳のきようまで、今度の選挙を除いては、世人を驚かす程の華々しい事件は起こっていないのであります。

これ等を総合して見ますと、彼は決して非凡な才能や衆にすぐれた手腕の持主ではないと思われるのであります。

然しながら今度の大統領選挙においては、政治的客観状況すら最悪の中にあつて、且つアメリカ中の新聞、ラジオ、雑誌、世論調査機関、評論家、政党内に至るまでが、ことごとく、必ず敗けると極印をおしていたにもかかわらず、当の本人は決してひるむこともなく如何な時にも温かい、しかも平凡な人間としての持味を失うこともなく、純朴と誠実の

彼独得な素地の上に、孜孜として積み重ねて来た実績の、一つ一つを以て、これでもかこれでもかとほとんど自分一人で、真正面から脇目も振らず、正々堂々と最後の最後まで頑張り通しております。

この行き方は到底、世の多くの政治家には出来ない、馬鹿正直一点張りの芸当であつたようでありませう。

要するに米国の民衆は彼を決して偉大な人物と、考えたのではないのでありませうが、きようまで彼が平々凡々たる中であつて、至誠一貫、純朴と誠実を以て培つて来た実績が如何に大きかつたかを知り、今更のように凡人トルーマンこそ、信頼し得るに足る人物であると、評価したのでありませう。

此所に私が重ねて言つて置きたいことは、昔から稍々ともすると平民的美徳位にしか考へて来なかつた純朴と誠実の力が、高い文化を誇るアメリカに於てすらも美事予想を裏切つて、世界を左右する程の偉大な政治力を生み出して来たのではないかということでありませう。

どうか諸君、幾度か言い古した言葉ではあるが、「至誠一貫」「一步一步健全な努力を積み重ねて行くならば、誰でも必ず偉大な金字塔を、輝かしく築き上げることが出来ると固

く信じて戴きたい。

そして、あの秀麗な富士のように、けだかく清い個性の確立に努められんことを切望して止まないものであります。

最後に卒業生諸君の健康と幸福を念願して、式辞を終わります。

(文京区立元町小学校を仮校舎として)

訃報

川島源しんじ校長

昭和57年2月25日御逝去

昭和15年20年初代校長

戦後は郷里高知にあつて活躍なされ、高知学園を再建され理事長をなさる。

鈴木時亮先生

昭和57年9月2日御逝去

昭和16年20年漢文、一期B担任

戦後は郷里宮城県教育界にて活躍され、米山高校長をなさる。

錦織 亮先生

昭和57年9月27日御逝去

昭和25年28年英語

その後、専修大学教授として活躍なさいました。

慎んで御冥福をお祈りいたします。

市三会だより

同窓の皆さん、明けましておめでと〜ござ
います。文京初期卒業の同窓有志13名を軸に
結成されたこの会も、早や9年目を迎えまし
た。この間、同窓の入会者も年毎に下に延び
て、会員数も130名を超す大世帯となりました
昨年に、会が主体で行いました主な動きを写
真でご紹介します。会に関するお問合せは下
記へご連絡下さい。



那須、黒羽バス見学会 57. 8. 22

○奥田行信先生追悼集刊行
○川島源司・奥田行信・河野孝光・川島計二
各先生合同追悼祭

57・11・23 母校定時制食堂にて



○第5回かしの木展 57・11・11〜10
於 三省堂画廊



※昨年は市立一中（現都立九段高校）時代の
教え子の方々と共に、奥田行信先生追悼集
刊行会を結成。以来関係各位のご努力と、
募金活動の成果で立派な追悼集10月に完成。
又昨年2月に他界された初代校長川島源司
先生はじめ学校草創のために市立一中から
来られた川島・奥田・河野孝光・川島計二
4先生合同追悼祭を、去る11月23日に母校
で夫々の先生のご遺族をお招きして盛大に
営みました。泉下の先生方も兄弟校の結束
を、さぞかしお喜びいただけたことと思
います。改めて4先生のご冥福を祈ります。
※奥田行信先生追悼集ご希望の方は左記へ。
〒101千代田区神田神保町二ノ二(株)末商會内
市三会 末 正明〇三二六二一五二一一

校舎燃上

鈴木 時亮

昭和十六年十一月 国語教諭

昭和二十年に入るや、東京の様相は一変してしまつた。玉碎と転進が相続き、たまに鳴り響く『軍艦マーチ』や『海征かば』の曲もなにかしらじらしく空疎なものを感じるようになってきた。人っ子ひとり姿すら見られない街ほど淋しいものはない。子供の姿はおろか、お扶持に離れた野良犬さへ見られなくなつてしまつた。重要建築物の周囲と延焼を防ぐ建物間引きの無気味な音と、もうもうと上がる土煙とは、凄惨の一言につきる。

昼夜を分かたらぬB29のじゆうたん爆撃に身心共に困憊その極に達し、食料も極度に逼迫し、工員は食料の買出しに、そして原料難のために生産は極端に低下していった。四月十三日夜の山手爆撃によつて、工場という工場、官庁という官庁の被害もまた莫大、帝都の機能は完全に麻痺してしまつた。屋根瓦をのせたばかりの新校舎も烏有に帰し、十四日には余燼空をおおい、ために、白日暗しといった状況下で、生きのびた職員数名が集まつて来た。なんの話もない。よくも生きのびられたものだ、とそれのみの繰り返しであつ

た。

本土防衛の拠点だつた硫黄島も、玉碎によつて完全に敵の掌中に落ち、不沈航空母艦となつて仕舞つた。五月に入るや、沖繩も事実上陥落、南は九州から北は北海道まで、敵機動部隊の艦砲撃と空爆にさらされる。制海制空権を握られた日本の悲惨な姿……。硫黄島から発進する無数の敵機は、東京の空を埋め尽くし、その合間に造つた搭載機関砲弾の99%がお釈迦となつて、工場の裏庭に山積みされる。純粹に、ひたむきに働く生徒の姿は哀れでならなかつた。

回つて来られた奥田先生(教頭兼校長代理)も、この現実を見て一言もない。鈴木君、こゝうなつたら万事休す。東京においてこの現状を座視するよりは、田舎へ帰つて援農と疎開工場で働く余地はまだある。生徒も動員先の指揮下に入る事になつた。都庁の承認は極力とつてやる。田舎へ帰れと、奥田先生は極力勧めてくれた。電報を打つて照会したら、小中校いずれでもよし、任地も希望に任せる、という返事に、四月二十六日、都落ちを決定した。

午後八時上野発をめぐけて自宅を出た。「永らくお世話さまになりました。では……」、言葉がつかまつた。上野の駅は一大修羅場と

変わつていた。一晚中空襲警報が鳴り響き、横浜と覚しき方向は、秋の夕映のように一晚中夜空を焦していた。まだまだ焼けるものがあるかなあ、と不思議な感慨にとらわれた。

翌朝九時になつて、ようやく窓から侵入した決死の乗車である。どこへ行くにもフリーパス、時刻表もなきに等しい。屋根の上も、機関車の上も鈴鳴りで、立錐の余地もなかつた。二十時間も飲まず食わずで、やつと下車することが出来た。途中、乞食をしながら、三十キロメートル先の我が家をめぐけて決死の行軍を続ける。「それ空襲だ」。澄んだ青空を見上げると、くつきりと透きとおつた白魚のような美しい姿態から、四本の飛行機雲をなびかせて三々五々と編隊を組んで北上するB29をただただ呆然と見やるにすぎなかつた。少数の艦載機も、超低空で東北の寒村まで威嚇射撃を繰り返すまでになつてしまつた。ああ、ここまで来たか。金甌無欠と謳われた大日本帝国の崩壊も寸前。頭を垂れて黙々と重い重い脚を引きずりながら必死の行軍を続けた。

先生は昭和五十七年九月二日
御逝去なされました



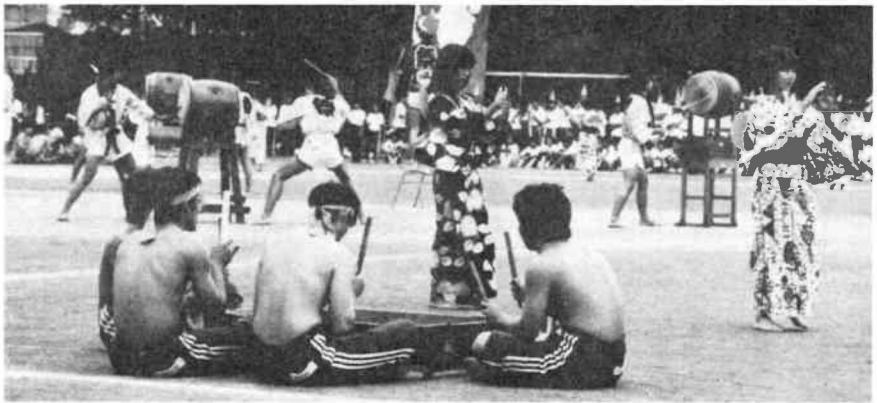
合 唱 祭 プラスバンド部



3 年 F 組 合 唱 祭



文 化 祭 舞 踊 部 発 表



体 育 祭 級 団 競 技



文 化 祭 ふるさと喫茶（3年E組）

卒業三十周年記念

同期会を開催して

世話人代表 27年卒4期E組

榎本幸三

五十七年七月三日、土曜日、国電水道橋駅近くの後楽園飯店において、ご来席の先生方九名、同期生八二名の出席者を得て、「文京4期会」を開催しました。定刻午後四時、先生方のご健勝とお互の再会を祝して、声高らかに乾杯を交し開会となりました。この同期会は二回目で三年前に一回目を開いていたので、大半の者は三年ぶりでしたが、約二十名は初めての出席なので、卒業後、正に三十年ぶりに先生方、同期生と再会できその喜びと騒ぎ振りは大変なものでした。

五年前に各クラスの幹事から、我々は文京に六年間共に学んだ者が多く、その間、クラス替えもあったのでクラス会では会えない友人も多いし、同期会であれば他のクラスの担任の先生方とも会える等の理由から同期会を開いてはと提案があり準備に掛りました。三百余名の卒業生中、百二十名程が住所不明になっていたため、名簿の整備が最も大変な作業となりました。残念ながら、今だに七十名程判明していません。しかし、今回記念すべき同期会を盛大に持てたのは、その間の

各クラス幹事の努力の結果だと思えます。

私達は、文京高校が戦災で校舎を失い、文京区立元町小学校の校舎に間借りをしていた文京高校四十一年の歴史の中の「元町時代」に在学していました。

昭和二二年都立豊島中学に入学したのですが、その翌々年、現在の六・三・三制に学校制度が変わり、豊島中学は高校に昇格し、校名も文京高校となったのです。(豊島区にありながら「文京」と名のる所以)私達は文京高校併設中学生となり二、三年生となっても後輩なしで過し、そのま、高校生になり、中学時代の先生方、校舎、同級生と六年間共にし、二七年三月の卒業式だけを現在の体育館でした。と云う、文京高校の歴史の中で最も変則的な時代を経験し、男子校最後の卒業生となったのです。当日の会場を水道橋界限で選んだのは、私達の脳裏にある文京は、現在の大塚校舎ではなく元町校舎だからなのです。

同期会を開いたことのない同窓生がいまさら是非お励めします。大変楽しく有意義なものだと思えます。

なおこの文を書いている九月末、当日ご出席頂き親しくお話をさせて頂いた錦織先生(写真左より五番目)の訃報に接しました。衷心より先生のご冥福をお祈り申し上げます。



E 組



先生方



C組



F組



ダンス部から♪
 幅広い年代に渡る文京高校卒業生。先輩・後輩・若き新会員の方々も一緒に、ダンスを通して同窓生相互の交流をはかり、和気あいあいとした雰囲気の中で、プロの先生にダンスを習い、総練習を兼ねたパーティで楽しい時を過ごしてみませんか？ 覚えたステップは学校のパーティにも通用し、職場でも、外国へ行っても通用し、ダンスパーティなどは、とても楽しく且つ健康にもいいのです。



日程 六月・十月の毎日曜日四回
 初級と中級があります。

会場 浅野ダンススクール 池袋西口

講師 浅野ダンススクール教授部

会費 四〇〇〇円位

参加資格 同窓会会員および会員の知人

尚、詳しくお問い合せをなさりたい方は

板橋区小茂根一―三〇―七

ハイツ小竹二〇一号室

藤沢洋二郎 TEL(九五七)九五三三

皆様のおいでをお待ちしております。

昭和56年度

都立文京高等学校同窓会会計報告

昭和56.5.10~57.5.21の間の会計は次の通りになります。

昭和56年5月21日 会長 渡辺 剛彰
 会計 太田 敏夫
 監査の上、正確であることを認証します。
 昭和57年5月28日 会計監査 横沢 靖夫
 " 鎌田 次彦

1. 財産目録 (57.5.21)

イ. 貸付信託 (基本財産) 11,611,000円
 ロ. 現金 1,623,447円
 ハ. 物品
 ①両開き書庫4 ②書類入れ
 ③手提金庫1 ④机2 ⑤いす1
 ⑥ファイル1 ⑦ストローブ1
 ニ. 郵便口座 (57.5.21現在) 10,000円
 ホ. 奨学基金 (金銭信託) 1,070,085円
 ヘ. 会館建設基金 (") 1,089,345円
 ト. 50周年基金 (") 200,000円

2. 現金

イ. 取 入 5,514,147円
 繰 越 金 1,323,867円
 会費(56年度卒,7000×402) 2,814,000円
 賛 助 金 120,000円
 名簿・記念誌 136,500円
 郵便振替 312,000円
 利 息 705,048円
 寄 付 102,732円
 ロ. 支 出 3,890,700円
 経 常 費 2,490,700円
 各部・事務手当 80,000円
 名簿(630部・バラ各50) 953,500円
 会報(10500部) 299,250円
 " 送料(9242×70) 646,940円
 " 発送費(含人件費3年分) 198,040円
 後援費(母校卒業生) 105,000円
 人件費 10,540円
 通信交通費 25,460円
 運営費 81,470円
 慶弔費 20,000円
 スチール書庫(2) 70,500円
 貸付信託 1,000,000円
 金銭信託 400,000円
 ハ. 繰 越 金 1,623,447円

昭和57年度

予 算 案

[取 入] 5,808,447円
 繰 越 金 1,623,447円
 利子 配当 710,000円
 57年度会費(7500×426) 3,195,000円
 その他 援助 金 240,000円
 記念誌名簿 40,000円

[支 出] 4,080,000円
 経 常 費 2,680,000円

各 部 (名簿・会報各5,000円,
 ダンス40,000円) 50,000円
 名 簿 (600部, バラ50部) 1,000,000円
 会 報
 印刷(11,000部) 320,000円
 送料(10,000部×70) 700,000円
 発送雑費 50,000円
 後援費(母校・卒業生) 250,000円
 人件費 20,000円
 通信交通費 80,000円
 渉外費" 20,000円
 運営費" 100,000円
 慶弔費" 10,000円
 事務手当費 30,000円
 予備費 50,000円

金銭信託
 奨学基金・会館建設基金(各10万) 200,000円
 50周年記念事業積立金 200,000円
 貸付信託(基本財産) 1,000,000円

[繰 越 金] 1,728,447円

卒業生進路状況— 1 —

注 ()は合格者の中の推薦合格者数
○は合格者の中の二部合格者数

(1) 国公立大(4年) [57年3月]

大 学 名				現役	浪人	合計	大 学 名				現役	浪人	合計
宮城教 育 大	0	1	1	東 京 芸 大	0	1	1						
宇都 都 宮 大	0	1	1	東 京 都 立 大	0	1	1						
埼 玉 大	0	2	2	東 京 都 水 産 大	0	2	2						
東 京 学 芸 大	0	1	1	東 京 山 梨 大	1	0	1						
東 京 農 大	0	1	1	合 計	1	10	10						

(2) 私 立 大(4年)

大 学 名				現役	浪人	合計	大 学 名				現役	浪人	合計
青 山 学 院 大	2	2	4	桜 美 林 大	2	0	2						
麻 布 布 獣 医 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 大	1	0	1						
亜 細 亞 大	0	1	1	大 学 共 同 学 院 大	2	1	3						
跡 見 細 学 園 大	0	3	3	大 学 共 同 学 院 大	1	0	1						
関 西 西 学 院 大	1	2	3	大 学 共 同 学 院 大	0	2	2						
関 西 立 学 音 院 大	0	1	1	大 学 共 同 学 院 大	1	0	1						
国 立 学 南 義 塾 大	1	1	2	大 学 共 同 学 院 大	1	1	2						
工 甲 慶 国 際 商 科 大	1	3	4	大 学 共 同 学 院 大	5	6	11						
慶 国 際 商 科 大	0	1	1	大 学 共 同 学 院 大	1	1	2						
駒 崎 西 子 工 大	2	0	2	大 学 共 同 学 院 大	0	1	1						
芝 浦 西 智 大	1	1	2	大 学 共 同 学 院 大	2	0	2						
上 野 和 合 溪 城 大	0	1	1	大 学 共 同 学 院 大	6	2	8						
昭 白 成 順 淑 削 専 大	1	1	2	大 学 共 同 学 院 大	1	1	2						
成 順 淑 削 専 大	0	1	1	大 学 共 同 学 院 大	4	0	4						
成 順 淑 削 専 大	1	1	2	大 学 共 同 学 院 大	0	3	3						
成 順 淑 削 専 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 大	0	2	2						
成 順 淑 削 専 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 大	1	0	1						
成 順 淑 削 専 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 大	1	1	2						
成 順 淑 削 専 大	2	0	2	大 学 共 同 学 院 大	13	10	23						
成 順 淑 削 専 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 大	0	1	1						
成 順 淑 削 専 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 大	1	0	1						
成 順 淑 削 専 大	1	2	3	大 学 共 同 学 院 大	1	0	1						
成 順 淑 削 専 大	1	2	3	大 学 共 同 学 院 大	1	6	7						
成 順 淑 削 専 大	2	0	2	大 学 共 同 学 院 大	2	0	2						
成 順 淑 削 専 大	1	1	2	大 学 共 同 学 院 大	0	1	1						
成 順 淑 削 専 大	2	0	2	大 学 共 同 学 院 大	5	4	9						
成 順 淑 削 専 大	3	0	3	大 学 共 同 学 院 大	1	1	2						
成 順 淑 削 専 大	1	1	2	大 学 共 同 学 院 大	1	1	2						
成 順 淑 削 専 大	0	2	2	大 学 共 同 学 院 大	0	1	1						
成 順 淑 削 専 大	3	1	4	大 学 共 同 学 院 大	1	0	1						
成 順 淑 削 専 大	3	1	4	大 学 共 同 学 院 大	1	0	1						
成 順 淑 削 専 大	3	1	4	大 学 共 同 学 院 大	98	93	181						

(3) 国公立短期大(2年)

短 大 名				現役	浪人	合計	短 大 名				現役	浪人	合計
電 通 大	0	1	1	都 立 商 科 大	1	0	1						
都 立 工 科 大	1	0	1	合 計	2	1	3						

(4) 私立短期大(2年)

短 大 名				現役	浪人	合計	短 大 名				現役	浪人	合計
青 山 学 院 女 短 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 女 短 大	6	0	6						
山 野 学 園 女 短 大	8	0	8	大 学 共 同 学 院 女 短 大	3	0	3						
跡 見 学 園 女 短 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 女 短 大	1	0	1						
上 野 美 林 女 短 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 女 短 大	2	0	2						
尚 美 子 音 美 女 短 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 女 短 大	2	0	2						
女 子 野 学 女 短 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 女 短 大	2	0	2						
成 順 淑 削 専 女 短 大	2	0	2	大 学 共 同 学 院 女 短 大	6	0	6						
成 順 淑 削 専 女 短 大	0	1	1	大 学 共 同 学 院 女 短 大	2	0	2						
成 順 淑 削 専 女 短 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 女 短 大	1	0	1						
成 順 淑 削 専 女 短 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 女 短 大	3	0	3						
成 順 淑 削 専 女 短 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 女 短 大	1	0	1						
成 順 淑 削 専 女 短 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 女 短 大	3	0	3						
成 順 淑 削 専 女 短 大	2	1	3	大 学 共 同 学 院 女 短 大	1	0	1						
成 順 淑 削 専 女 短 大	5	1	6	大 学 共 同 学 院 女 短 大	3	0	3						
成 順 淑 削 専 女 短 大	10	6	16	大 学 共 同 学 院 女 短 大	1	0	1						
成 順 淑 削 専 女 短 大	1	1	2	大 学 共 同 学 院 女 短 大	1	0	1						
成 順 淑 削 専 女 短 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 女 短 大	3	1	4						
成 順 淑 削 専 女 短 大	1	0	1	大 学 共 同 学 院 女 短 大	4	0	4						
成 順 淑 削 専 女 短 大	1	0	1	合 計	84	3	87						

卒業生進路状況— 2 —

(5) 各種・専修学校

学 校 名	現役	浪人	学 校 名	現役	浪人
国学院大幼稚教育専門学校	0	1	東京歯科大附歯科衛生専門学校	1	0
淑徳保育専門学校	1	0	帝京医学技術専門学校	2 (1)	0
竹早教員養成所	2	2	K.K.河合楽器ピアノ調律技術者養成所	1	0
東京都練馬高等保育学院	2	1	日本楽器ピアノ技術アカデミー	1 (1)	0
東京保育専門学校	1	0	桑沢デザイン研究所	1	0
道山保育専門学校	1	0	東京ビジネス専門学校	2	0
道米英会話学院	1	0	ヤマザキカレッジ	1	0
神田外語	2	1	お茶の水タイプ専門学校	3	0
津田スクール・オブ・ビジネス	1	0	日本電子専門学校	8 (5)	0
通訳ガイド養成所	2	1	東京CPA経理専門学校	1	0
東京Y M C A 英語専門学校	2 (1)	1	村田簿記	1	0
東京スクール・オブ・ビジネス	3	0	千代田工科芸術専門学校	3 (1)	0
一ツ橋スクール・オブ・ビジネス	1 (1)	0	東京デザインナー学院	12 (5)	2
国立病院医療センター付看護学校	1	0	文化服装学院	2 (1)	0
東京都立看護学校	1	0	日本美容専門学校	1	0
東京都立板橋専門学校	1	0	日本児童文学専門学校	1	0
豊島看護専門学校	3	0	トラベル・ジャーナル旅行学院	0	1
国立国府台病院付看護学校	1 (1)	0	早稲田速記学校	1	0
関東逓信看護学校	1	0	日本大学歯学部附技工専門学校	0	1
東邦医大看護専門学校	2	0	日本エディタースクール	1	0
日本医科大附歯科専門学校	1	0	計	74	11

(6) 就職予定者 (58年3月卒)

氏 名	企 業 名	氏 名	企 業 名	公務員試験合格者
小野田倫子	住友銀行	庄司夏美	三菱銀行	国家… 苜谷 美保 岸 正子 高津ちひろ 小林 健二 杉山 茂 (以上5名)
手嶋秀子	東急フーズ	中島綾子	興銀リ一ス	
樋口綾子	大陽生命	永島早苗	東京相互銀行	
平山陽子	長期信用銀行	野添裕古	更科情報	
白井雅子	安田火災	山田乃理子	日本住宅金融	
野末規代	丸井井	吉田孝子	三井銀行	地方… 白石 清美 須藤 昌美 大月 美香 (以上3名)
網谷重人	丸井井	赤羽根 鴨	トヨタ自動車	
立川吉美	日本信販	織田美枝子	トヨタ自動車	
藤井みゆき	ミナミスポーツ	木塚 真美	安田火災	
池田由美	電々公社	藤田 佳子	クラヤ薬品	
小川真美	西武建設	丸山 恵己	日新製鋼	
倉持智子	埼玉銀業	保田千穂子	日資生自	
後藤幸子	埼玉製薬	太田美佳里	日産自動車	
塩田幸	ダイヤモンド	佐々木聡子	大陽生命	
角田貞子	エトワール	佐野 江利	資生堂	
石田奈巳	松下電送	進藤 知子	資生堂	
板垣孝子	三井銀行	高田 利江	電波振興	
岩室弘子	丸井井	服部 久美	大和証券	
宿谷京子	日本信販		(以上 37名)	

文京OB吹奏楽団
文京高校吹奏楽部

『第8回定期演奏会』



- 日時：1983年4月3日（日） 1：30 P. M. 開演
- 会場：板橋区立文化会館（東上線大山駅下車）
- 指揮：仲田 守，田中祥一
- 独奏：大澤健一（チューバ）
- 曲目：行進曲バルドレス（ハンセン），組曲第2番（リード），チューバ協奏曲（ウイリアムズ），リエンチ序曲（ワーグナー），シチリア島の夕べの祈り序曲（ヴェルディ），etc.

II部では，世界のポピュラー曲を演奏

- 主催：文吹会（文京高校吹奏楽部OB会）
- 後援：文京高校同窓会
- 入場料：300円
- 連絡先：(386) 6 7 2 4（渡部 曜）

例年、この時期に開催してまいりました私共の演奏会も、皆様のおかげをもちまして、第8回を数えるに至りました。これも、日頃より温かく見守って下さる同窓生の方々のおかげと団員、部員一同、深く感謝いたします。さて、今回の演奏会では、独奏者として、東京シテイフィルハーモニック管弦楽団他、いろいろ活躍をなさっておられる、大澤健一氏をお迎えして、ヴォーン・ウイリアムズの「チューバ協奏曲」を演奏していただきます。普段は主に伴奏にまわる事が多い、大きな楽器、チューバの低音の魅力是非お聞きいただきたいと思えます。また、指揮者は、前回と同じく、東京佼成ウインドオーケストラ他、広く活躍なさっておられるサクソホン奏者の仲田守氏、そして、文京の卒業生で文京高校吹奏楽部のコーチをなさっておられる田中祥一氏です。

今回は、クラシック系の曲の他にも、第二部では、世界のポピュラー曲を特集し、皆様にお楽しみいただきたいと練習にはげんでおります。高校のクラブ活動として、放課後の短い時間に練習を積み重ねる現役、仕事を終えた夜、各地から集まってきて練習をするOB、共に昨年夏のコンクールでは一応の成績をおさめる事ができました。熱意だけは人一倍持つて演奏したいと思えますので、是非、御来場下さい。

勝山歯科医院

一A 勝山和夫

墨田区太平3-14-5
Tel(医院)623-6592(自)659-5675

ヨシヒデ金属KK代表取締役

(非鉄金属材料の販売)
(金属材料コンサルタント)

一A 郡司良典
〒180-03東久留米市小山1-17-3
Tel 0424-71-4415

婦人科渡辺クリニック

一A 渡辺邦緒

〒107 港区北青山3-5-22
青山通り富士銀行ソバ
Tel(医院)403-3777(自)719-1778

弁護士

一A 渡辺剛彰

〒113 文京区西片2-12-23
Tel(事)814-1984 (自)811-7704

渡辺歯科医院

一A 渡辺敏雄

〒160 新宿区新宿7-2-4
Tel(医院)203-3952
(自)351-7976

MYフォト

(ポートレート、商業)
(写真、スタジオ出張)

一B 板垣公章

〒181 三鷹市新川6-35-32
Tel 0422(43)6415

三崎町医院

成人病相談

一B 福山正臣

〒101 千代田区三崎町2-21-1
TEL(医院)261-7446
(自)904-4844
社会福祉法人 全国ベテネット協会

八洲印刷K.K.

一B 川上光男

〒114 北区王子本町2-11-6
Tel(会)909-3211 (自)815-2839

(株)栗原製作所

(各種ディスプレイ企画製造)

一B 栗原正昭

〒111 台東区元浅草4-5-5
Tel 841-2515(代)

出光ガソリンスタンド 自動車販売整備

飯田橋・神保町
一B 末正明

〒112 文京区後楽2-6-1
Tel(会)261-5111 (自)811-0755
(夜)944-3248

同窓有志の集い

市三会

世話人 一B 末正明
一B 栗原正昭
4E 榎本幸三

高松診療所

一B 野久保泰徳

〒190 立川市高松町2-2-14
Tel 0425-27-3541

虎の門日比谷クリニック

(皮膚科、泌尿器科、形成外科)

健保扱い

一C 山中秀男

(自)〒152 目黒区目黒本町4-8-20
〒105 港区虎ノ門1-1-20
虎ノ門実業会館5階
Tel(医院)508-2508 (自)714-9518

池谷製作所

(メガネ・レンズ製作)

一D 池谷利一

〒160 新宿区大久保2-13-16
Tel(会)209-8631 (自)209-8118

医療法人 池袋大久保病院

(内科・胃腸科)

院長

二B 大久保宏

〒171 豊島区西池袋1-43-5
Tel(医院)987-3785~7
(自)981-1623

弁護士

二D 原田策司

〒104 中央区銀座7-5-4 毛利ビル4階
Tel 571-1780(代)
自宅 大田区上池台3-30-1

三A 木藤 慧

〒158 世田谷区瀬田5-37-3
Tel 700-6927

産婦人科

三E 小室陽一

〒114 北区岸町1-12-22
Tel(医院)907-0303(自)907-0280

静谷クリニック

(内科)

四B 静谷晴夫

〒170 豊島区西巢鴨4-6-2
Tel(医院)910-1136(自)910-1219

創美建設(株)代表取締役

四D 館野俊一

〒114 北区西ヶ原3-65-16
Tel(自)918-0015(会)949-0007

東京都北区議会議員
医療法人赤羽病院常務理事
王子税理士会顧問

税理士

四E はいばら 富士雄

〒115 北区志茂1-17-13
TEL 901-8554

静谷歯科医院 (歯科一般)

4D 静谷栄夫

(午前)〒170 豊島区駒込3-11-3
Tel 915-1108

(午後)〒170 豊島区巢鴨3-8-15
Tel 915-0072

弁護士

18・I 宮本 智

〒100 千代田区有楽町1-6-8
松井ビル6階

旬報法律事務所

TEL(事務所)580-5311
(自宅)0423-44-2915

南浦和・セキハタ歯科医院

21・I 関端 徹

〒336 浦和市南浦和2-7-17
Tel(医院)0488-86-1818
(自)0482-68-9176